
悲しみが止まらない

楡井ビデオ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悲しみが止まらない

【Nコード】

N5738S

【作者名】

楡井ビデオ

【あらすじ】

大きく年が離れた少年と恋に落ちたが、やがて別れがめぐってくる。

そこは避暑地で有名なところで平野を一望できる高台だった。
画家の貴子が引越してきたのは三年前のことである。

ある翌年の春のことである。

若くてハンサムな少年から恋の告白を受けた。はじめは馬鹿げた話だと言って無視した。

19歳の少年と恋に落ちたにはあまりにも歳を取りすぎていたから。しかし恋しないで生涯を終えるには若すぎた。

色々話すうちに少年も身の上話を聞いた。それは美しい満月のころうか。

月明かりに照らされた少年は神々しいほど美しかった。少年は12歳のとき、交通事故で大好きだった母親を失った。その日を境に少年の心の中に大きな穴があいた。悲しみが癒されることがなかった。

「私もあなたと同じように好きな人を突然失った」

「忘れることは出来た？」

彼女は首をふった。

彼女は年甲斐もなく涙で頬を濡らした。

少年が後ろから抱きついた。その時から、少年への同情が恋に変わった。そしてその愚かさを知りつつ抑えることができなかった。

彼女は少年に愛を、人生、哲学を語った。少年は女に導かれ、そして真剣に彼女を愛した。それは切ないほど激しい愛だった。肌を重ね、貪るように愛した。いつしか、彼女はうすうす気づいた。この愛がほんの一時であることを。やがて自分の体を通り過ぎていく

ことを。とはいえ、

季節が夏から秋に変わり、そして冬になり、その長い冬も終わりに近づき、再び春がめぐった。少年はそれでも彼女を狂おしく求めた。彼女は一抔の不安を抱きながらも、この愛が永遠に続くと錯覚した。

しかし、彼女の不安は的中した。

少年は一人の少女に出会った。そのことを少年がさりげなく語った。彼女は表情を変えず、黙って聞いた。が、内心、彼女は自分から旅立たせてやろうという思いとそばに置きたいという気持ちの間で揺れていた。

少年は、ある日、彼女のもとに来なくなった。それは桜の花が散る春の終わりのことである。

1日、2日と過ぎていくうちに、もう二度と来ないことを悟った。そうなることを予感していたはずなのに、いざ、その場面に直面すると、彼女は悲しみに暮れた。そして、利用されたという思いにもなり、彼に対するやるせない怒りも覚えりした。が、ある日、その方が良かったということに気づく。第一あまりにも年が離れ過ぎているし、いつまでも続かない以上、いつかは別れなければいけない。傷が深くないうちに離れた方が良かったと。

それから、数週間後、初夏のことである。

街中で、少年とすれ違った。同年代の少女を連れていた。少年は気づかなかった。彼女は何も語らずに、黙って見送った。不思議と前に感じたあの憎しみの情は起こらなかった。むしろ、少年の新しい恋を祝福してあげたい気分になった。が、同時に、なぜか、前より少し歳を取り、取り残されてしまったような寂しさを感じずにはいられなかった。

友人の京子が訪ねてきた。

ベランダで二人、夏の夜空を眺めながらビールを飲んだ。

「生きるって切ないね」と貴子は独り言のように呟いた。

「何を今さら、切ない恋でもして失恋でもした？」

「うん」と頷いた。

「誇り高き貴子にしてはやけに素直ね」

「誇りはもうどこかに忘れてしまった。今は悲しみが止まらないの」

「ビールを飲んでも？」

「茶化すのはやめてよ。少し真面目に話しているんだから」

「ごめんなさい。恋したと聞いて思わず嫉妬してしまったの」

「いいよ。でも不思議ね。切ない恋をして破れ、悲しみが止まらないのに、若いときみたいに取り乱さず、こうやって話せる自分がいるの」

二人の頭上に満天の夜空が広がっていた。それは切ないほど美しかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5738s/>

悲しみが止まらない

2011年10月9日00時07分発行